

1-1. 近代建築運動と社会主義——その曖昧な関係

近代建築運動（モダン・ムーブメント）：19世紀半ば以降のヨーロッパにおけるデザイン改革の動きにはじまり、第一次世界大戦後の1920年代に明確化・建築におけるモダニズムを確立

二つの側面

① 近代における産業資本主義の発展の受容と、それに対する適応

→大量生産、規格化、合理化など

② 近代における産業資本主義の問題点に対する批判と、その乗り越え

→住宅問題・都市問題への対処、ユートピアの構想

→社会主義思想との結びつき